

鯨推収発第 5181 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

鯨沢町長 石 川 洋 司



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号にて依頼のありましたこのことにつ
きまして、別紙のとおり回答いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山梨県南巨摩郡鯉沢町

- ・ 道路、橋等の更新時期に対応する山間地方への補助等、山間まち交事業なる支援対策を早期に組み立ててほしい。
- ・ 既存道路の質的向上に向けた取組みとして、例えば、環境負荷や健康増進等から見直されている自転車であるが、昨今では自転車による事故が多発していると聞く、幹線道路等自転車は走りにくい環境である。自転車道の整備や専用レーンの設置、歩道の拡大や段差解消等、安全で快適な自転車利用環境の整備を望む。(国道52号)
- ・ 質の高い道路景観や環境負荷、事業費のコスト軽減を図るため、道路緑化や法面土羽工法などが進められているが、実際の道路管理においては、植栽柵の中や法面は草で覆われ周辺の景観に悪影響を与えている。(甲西道路) 道路の維持管理予算が削減される中で適期に除草処理ができないなど良好な道路景観が維持できていないように感じられる。景観配慮は道路ができてからの方が重要であると考え。道路予算について十分な維持管理費を確保すべきである。特に、住居地域を通過する道路は環境負荷もあるが、その後の除草維持管理経費がかからない工法を選択すべきである。

特に道路、河川等管理面でエリアが定められていると思うが、除草の際には同時期に作業を行うなど調整ができないものか。土手と接する道路際の1m程が除草されていない光景を目にすることが多い、コスト面でも減額となるように思うが何とか調整できないものか。
- ・ 首都圏の高速道路等100円、500円等の料金所が短い間隔で存在する。渋滞の解消を図るためETCへの移行(一本化)について年度を切って進めたらどうか。
- ・ 交通事故等の削減を図るため高速道路への大型車両専用レーンの設置を望む。
- ・ 道路はスピーディにつくる必要がある、地方で街路等をつくる際には国との協議事項が多くある。よりの確な指導とスピーディな許可や協議をお願いしたいところである。
- ・ 地域とともに協働でより利用し易い道、安全な道と進化させていく視点を持ち、道が果たすまちづくりの役割について意見交換や実践活動を進めようと発足した「国道52号、甲西道路の利活用を図る会」はどうなったのか。期待していただけにこのまま終わってしまうのは残念である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

山梨県南巨摩郡鯉沢町

○現状

当町は山梨県の甲府盆地の最南端に位置し、国道５２号が富士川に沿って南北に町を縦貫し、枝のように山間地を走る県道や町道が国道に接続している。いずれも、急峻な山肌をぬうように走る道路で、その道路に沿って集落が点在している。この道路が生活の根幹を担っているが、まだまだ防災面や安全面等不十分である。

住民が安全で安心して生活できる地域の実現には生活道路の整備は必要不可欠であり、治水、河川、砂防等道路を取り巻く広範な環境整備が重要である。

○課題

地震や降雨による防災面の対応が必要であるが、財政状況等厳しい中では通常の維持管理もままならない状況である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

山梨県南巨摩郡鯉沢町

- ・ 山間地を抱える地方の町にとって、緊急災害時の道路網の寸断は集落の孤立につながる。防災、減災面に重点を置いた災害に強い道づくり等、安全、安心の道路網整備が最も重要であると考え。

・

今後の道路行政について意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

山梨県南巨摩郡鯉沢町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○ その他
・ 地域活力の向上と危機管理の強化 ・ 基幹道路の更新整備と維持管理	・ 中部横断自動車道 ・ 国道52号と甲西道路	・ 沿線市町村の活性化（観光等） ・ 交流の促進 ・ 災害時の代替道路の確保 ・ 高次救急医療施設の利用 ・ 本線までのアクセス道の整備 ・ 通勤・通学等生活基幹道路 ・ 安全で安心な道路 ・ 歩道の整備や段差解消等バリアフリー化 ・ 渋滞解消 ・ 広域圏域の活性化と交流促進	・ 移動時間の短縮 ・ 「譲り合い車線」や「待避所」、「トラック専用レーン」等女性や高齢者が運転し易い高速道路 ・ 静岡県、長野県への通過点としての危惧